

フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会（第 26 期・第 5 回）
議 事 要 旨

1. 日 時 令和 7（2025）年 5 月 20 日（火）13 時 00 分～15 時 00 分

2. 会 場 オンライン開催（Zoom）

3. 委員出欠

出席者：沖 大幹、三枝 信子、春日 文子、亀山 康子、神原 咲子、近藤 康久、谷口 真人、
張 勁、橋爪 真弘、福士 謙介、山内 太郎、山下 潤、渡辺 知保、堅達 京子、
佐座 慎苗、山本百合子

欠席者：江守 正多、蟹江 憲史、狩野 光伸、鈴木 康弘

オブザーバー：Ria Lambino

事務局：新田 浩史、角田 美知子、野田 太輝、佐藤 有純

4. 議事内容

1) 第 26 期・第 4 回の議事要旨の確認

沖委員長より第 26 期・第 4 回のメール審議の結果に基づき、議事要旨の確認があり、承認された。

2) フューチャー・アースの世界的な動向について

春日委員から資料 5 に基づいて説明があった。

3) Earth Commission の活動について

沖委員長から資料 2 に基づいて説明があった。

4) 分科会の活動について

谷口委員から資料 3 に基づいて地球環境変化の人的側面分科会の活動が報告された。

5) フューチャー・アース日本委員会の活動について

谷口委員から資料 4 に基づいて Future Earth Japan Report 2026 の説明がなされた。

6) 公開シンポジウムの開催について

春日委員から資料 5 に基づいて説明があった。

7) 今後の委員会活動について

委員間で意見交換を行った。主な意見は次の通り。

- EU ではステークホルダーとの協働が広く求められるようになっており、Future Earth 的アプローチが主流になっているが、制度的な障壁が残る。
- One Health とプラネタリーヘルスの融合について、日本では協調的に進める余地があるのではないか。
- 社会へ向けた発信力が不足している。研究者と一般市民の間に知識のギャップが生じている。
- 専門家と社会をつなぐ人材（ナレッジ・ブローカー）が不足している。メディアや教育関係者が参照しやすいように Future Earth に関わる研究者の専門分野と連絡先をリスト化したらどうか。
- Future Earth 日本委員会のウェブサイト上で、個人情報に配慮しつつ公開するのはどうか。

8) その他
特記事項無し。

以上